

臨床研究「リハビリテーション介入患者における深部静脈血栓症の評価研究」について

筑波大学附属病院リハビリテーション部では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

深部静脈血栓症は、血栓が血流とともに移動し肺塞栓を引き起こす可能性のある非常に危険な病態です。安静臥床が3大要因であり、安静臥床を要する患者、術後患者、担癌患者に血栓形成リスクがあると言われております。特に入院中にリハビリテーション介入が必要な患者ではVirchowの三徴の血流の停滞、血管内皮障害、血液凝固能の亢進などをきたしていることが多く深部静脈血栓症の発症リスクが高いと考えられます。しかしながらリハビリテーション介入した患者における深部静脈血栓症の発症率やどのような患者で発症する可能性が高いかなど詳細は明らかになっていません。これらの情報が明らかとなれば、急性期病院での深部静脈血栓症の実態の理解が深まり、より早期から重点的に発症リスクの高い患者に対して予防を行うことができる可能性があります。

本研究の目的は、当院において、リハビリテーション介入を行った患者のうち深部静脈血栓症高リスク患者の割合や実際に深部静脈血栓症を発症した患者の割合について調査することです。

② 研究対象者

2018年4月～2018年9月の期間において、筑波大学附属病院に入院されリハビリテーションを実施された患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月31日まで。

④ 研究の方法

入院中にリハビリテーション介入された患者さんと深部静脈血栓症の関連を診療録をもとに後方視的に調査します。

⑤ 試料・情報の項目

深部静脈血栓の有無、手術、薬剤などの治療歴、血液データなどの情報を診療録から収集。

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院リハビリテーション部 部長 羽田康司 医師。

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：リハビリテーション部 担当 小林

電話：029-853-3795（直通） 平日9時～17時